

人形芝居

集中講義 ライフ・スキル

登場人物

マギー先生




生徒


シーマ ミー モン キー マー スネ




1 時間目


 日本から授業を見に来てくださったみなさま、ようこそ。
先生のマギーです。これから「ライフ・スキル」のことを勉強します。
教科書は英語で書かれていても、3 年までいつも話しているカンバ語
で勉強していいことになっているのに、なんで英語なの？という顔をみ
んな、していますね。「生きるワザ」でわかりますか？


     はい。


 では、お客さまに、自分の名前を教えてください。


 小学1年。シマウマのシーマです。


 同じく1年の、ヘビのミーです。

 サルのモン。



 サルのキーです。


 マー。シマウマです。

 「自分のどんなところが好き」か、言ってみましょう。


 細くて長い、きれいな体です。

 ぼくは大きいことです。

  同じシマウマでも、マーちゃんは子ビ！

 マーちゃんは小さいから、机の下にエンピツが落ちたとき、拾っ
てね。シーマは大きいから、棚の上にある本を取るのを手伝って。みん
な、いいところがあるのです。

2 時間目

 きょうは1日、ライフ・スキルの授業を続けます。


「うれしい」とか「悲しい」とか、気持ちについて考えてみましょう。


今、うれしいな、と思っている人はいますか？

悲しい人は？

どうしてなのか、も言ってみてください。

 新しいセーターを買ってもらったの。うれしい！





 悲しい。弟が病気になるっちゃった。


 さっき、スネくんのままから電話があったので、その話をします。

「誰も遊んでくれないから、学校にいきたくない」と言って、ベッドから出
てこないそうです。


みんな、スネくんのように思ったことがありますか？ そんな悲しい気
持ちになったら、何ができるか、考えてみましょう。


3 時間目


-  おばさんからもらったバナナ、半分あげる。
-  おいしい！ お願い、もっとちょうだい。
-  ごめんなさい。1 本しかないの……。わたしの分もあげる。
-  ありがとう。

 「お願い」「ごめんなさい」「ありがとう」という、いい言葉話をしているの、おしゃべりが終わるまで、待っていました。ほかの人と暮らしていくのに、とても大事な言葉です。

3 時間目の授業を始めます。


 ほかの人が困っているのをみたとき、手助けができますか？
シーマ、杖をついたおじいさんが、大きな荷物を持って、横断歩道を渡ろうとしているのを見たら、どうしますか？


 荷物を持ってあげます。


 よいことです。

お互いにやさしくすること、困っている人がいたら、助けることを学びましたね。


4 時間目


 知らないおじさんに、「うちにおいで。お菓子をあげるよ」と声をかけられたら、どうしますか？
では、ミーちゃん。


 「いいえ」と言います。


 そうです。言わなければいけないときには、しっかり「No」と言しましょう。


5 時間目


 お休みに、キーちゃん和マーちゃんは、なんでなわを引っ張り合っていたのですか？


 「なわ飛びをするのは、わたしが先」と言ったら、マーちゃんが！
キーッ！


 だって、わたしが先……。


 マーちゃんは、きのう、先に飛んだのに。


 キーちゃんも、先週、先に飛んだ。


 あらあら、どうしたらよいかしら。


 キーちゃんが、先でいいわ。でも、5 つ数えるまで。

 短すぎる！ 20 まで！


 長すぎるわ。10 まで。


 じゃあ、15 まで。

 いいわ。学校が終わったら、わたしが 15 数えるまで、キーちゃんが先に飛んで。


 意見が合いましたね。友達と意見が合うまで、他の 3 人はどんなことをしていますか？

6 時間目

 モンくん、きのうの宿題をやってきていないのですか？

 だって、サッカーに夢中で、時間がなかったから……。すみません。

その前に宿題をしなくてははいけなかった、と分かりました。

 みんなも、悪いことでなくて、よいことを選べるようになりましょう。そして、友達が悪いことをしていたら、「それはよくない」と言えるようになりましょう。

ケニアはたくさんの民族グループで構成されています。この子たちのようにカンバ語を話すカンバのほか、日本のテレビ番組によく出てくると聞いているマサイ、人口が一番多いキクユ、隣のソマリアと同じ民族、ソマリ。ほんの一部です。

7 年前の大統領選挙で、民族の違いを政治家が利用したことから、暴動が各地で発生して、1000 人以上の方が亡くなりました。再び、そのようなことが起こらないように、とライフ・スキル教育に力を入れることになりました。小学校では、1 年生から 8 年生までライフ・スキルを学びます。

かけ足の授業を聞いていただき、ありがとうございました。

この冊子は、

Emma Wachira et al. [2009] “Better Living: A Life Skills Education Course: Pupil’s Book 1” OXFORD UNIVERSITY PRESS (52 ページ) を材料としています。

CanDo ミニ・ブックレット 人形芝居—集中講義「ライフ・スキル」

2015 年 10 月 3 日発行

(特活)アフリカ地域開発市民の会(CanDo) <http://www.cando.or.jp/>

〒110-0001 東京都台東区谷中 2-9-14 第2 森川ビル B 号 TEL: 03-3822-1041